

2022 年 6 月 15 日
第 64 回京都大学 11 月祭全学実行委員会

第 64 回 11 月祭の日程変更に関する声明(案)

1. 事実確認

第 64 回 11 月祭の日程変更に際し、以下の点が事実であることを確認する。

1. 全学実行委員会は、今年度において、大学の意向を考慮し、消極的に日程変更を承認したという事実をここに確認する。
2. 日程変更の承認に際し、日程の変更の可能性が低かったために、十分な議論がなされないまま日程変更を承認せざるを得なかったという事実をここに確認する。

本声明は、上に述べた事実を踏まえて、今年度生じた問題の指摘と今後に向けた姿勢の表明を行うとともに、次年度以降、11 月祭の日程に係る決定が公正になされることを目指して行われるものである。

2. 声明

「1. 声明の趣旨」に示された通り、今年度 11 月祭の日程変更にあたり、大学の曜日振替を減らしたいという意向を踏まえ、日程変更が消極的に承認された。本来、11 月祭の日程等、11 月祭の根幹に関わる事項であれば、大学当局が検討した段階で学生側に連絡し、全学実行委員会内で十分な議論をしたのち、学生と大学当局の間で協議が進められるべきである。しかしながら、今年度は、大学からの確認はあったものの、大学当局と学生側での十分な議論はなされなかった。今後は、大学当局には、11 月祭の日程等、11 月祭の根幹に関わる事項であれば、大学当局が検討した段階で引き続き学生側に連絡するよう求めるとともに、全学実行委員会の要求があれば話し合いに応じることを求める。

全学実行委員会は、今後の 11 月祭開催に向けて、日程を初めとした 11 月祭の根幹に関する検討において、十分な議論を行った後に、合理的な合意形成を目指すという意思をここに表明する。

以上